



- 1,086例の鑑別診断と多種職で支える認知症診療を提供
- 新たな抗アルツハイマー病薬による治療を実施（治療対象者に希望に応じてAPOE遺伝型を開示し、治療法の選択に活用）
- 認知症専門医療相談
- 外来窓口での個別相談（診断後支援）

- 本人・家族ペアを対象にした認知症教室（診断後支援）
- 軽度認知障害（MCI）を対象とした薬剤治療
- 地域連携の推進（あいちオレンジタウン構想）
- 若年性認知症支援

（1）診療実績（R7年度）

外来診療	鑑別診断（初診）	再診数	高齢者総合評価の実施
R7年度の診療件数	1,086件	9,145件	1,584件

年次推移	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
鑑別診断（初診）	1,054件	917件	1,002件	1,145件	1,086件

（2）抗アルツハイマー病薬（抗Aβ抗体薬：レカネマブ・ドナネマブ）による治療

レカネマブ

	令和6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
使用開始	5名（治療から）	2名	5名	4名	5名	4名	3名	2名	4名	2名	1名	中止9名 完了7名 延長12名

	令和7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
使用開始	1名	4名	0名	1名	1名	2名	3名	1名	0名	0名	1名	0名

	令和8年1月	2月	3月	合計
使用開始	1名	4名	3名	59名

ドナネマブ

	令和7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
使用開始	7名	6名	2名	3名	1名	3名	1名	1名	2名	2名	中止12名 陰転化完了5名

	令和8年1月	2月	3月	合計
使用開始	0名	2名	2名	32名



バイオバンク登録済のレカネマブ・ドナネマブ治療の対象者に、全国に先駆けて希望に応じてAPOE遺伝型（診療報酬未収載）を開示し、副作用（ARIA: Amyloid-related imaging abnormalities）の発生率を踏まえた治療法の選択の際の判断材料として活用してもらっている。

（3）地域連携

- あいちオレンジタウン構想
- 認知症地域医療連携協議会
- 老健事業（認知症疾患医療センター運営事業実績報告クラウドシステムの在り方に関する調査研究）での提言
- 若年性認知症の新規支援が40件
- 愛知県：認知症疾患センター事業評価

